

# 杉戸町農のサポーター育成塾

## 第7回目 令和3年10月23日(土)



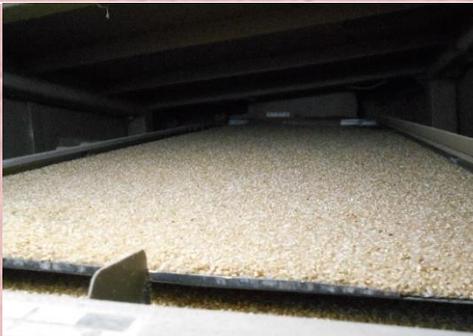
7回目の最初は杉戸ライスセンターの見学からスタートです。



お米が持ち込まれてから精米までの一通りの流れを職員から説明を受けました。



持ち込まれたお米が精米されるまで様々な機械を通過していきます。



こちらは、欠けた米粒などを選別する機械です。



アグリの職員からお米の豆知識を伺いました。



見学をした後は、実際に稲刈りに挑戦してみます。



まずは、講師が稲の刈り方をレクチャーします。



プロの農家の手さばきはさすがです。



実際に皆さんも刈ってみます！手を切らないように。



藁の結び方について、講師のアドバイスを受けています。



中腰での作業なので足腰にきます。



手刈りで作業を行うと、何人もの力が必要になります。



刈り取った稲は、はさにかけて自然乾燥させました。



稲刈りを終え、農園に戻り先月定植した冬野菜の観察です。



はじめに収穫を終えたナスを撤去します。



マルチも撤去し、来年以降も耕作ができる状態に戻します。



先月に種をまいた大根もこのように大きくなったので、間引きを行います。



大根の間引きは、根元から引っっこ抜くので力作業となります。



白菜は収穫となりましたが、無農薬で栽培したため、虫に食べられてしまいました。



サニーレタスは虫に食べられていなかったのですが、栽培管理の難しさを身に染みることができました。



白菜は根元を切り取って収穫します。



晴天に恵まれ、充実した第7回目のサポーター塾を終えることができました。

農のサポーター育成塾とは、農家の担い手不足に対応するため、農業の応援団として生産現場で農家の農作業を手伝う援農ボランティアを育成する新たな事業です。